



図書館を建て替えてほしいです。

「蒲郡市公共施設マネジメント実施計画」をもとに、図書館やホール、生涯学習センターの機能を核とした施設を蒲郡駅周辺につくる予定です。従来どおりの単なる図書館やホールではなく、施設が複合しているだけではない、市民の活動拠点となる新しい空間を目指しています。

これからのまちづくりには、市民の皆さんに主体的に関わってもらうことが重要です。本プロジェクトではワークショップを開催していますので、参加してどんな施設にしたいか一緒に考えましょう。

進行状況は
Instagramで！



GAMA.FM.LEADING



保育園からの連絡を紙から電子に変えてほしいです。

10月から保護者アプリ（コードモン）を導入し、園だよりや給食の献立表など園からのお知らせをアプリで受け取れるようになりました。また、時間を気にせず、遅刻や欠席の連絡をすることもできます。



ごみステーションに「ごみ集積ボックス」を設置してほしいです。

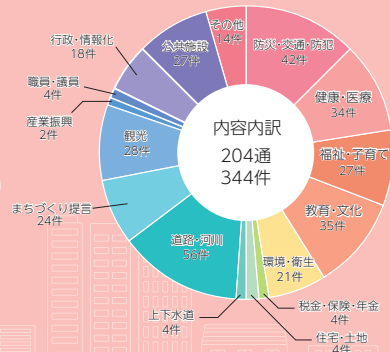


ネットに替わる箱型のごみ集積ボックスは、市ではなく、各地域の役員が各地域の実情に応じて検討し、設置しています。ごみ集積ボックスを設置するためには、十分なスペースを確保した上で周辺の交通安全を図ることが必要です。状況によっては対応することが難しいかもしれませんが、住んでいる地域においてごみ集積ボックスの設置が可能かどうか、地域の役員にご相談いただければと思います。



市に関する お問い合わせはこちら

- ・市民の声投書箱（市役所ロビー）
- ・郵送（〒443-8601）
- ・お問い合わせメール（☎ 0212620）



市長への手紙を実施しました

まちづくりへの意見やアイデアを直接市長に伝えることができる「市長への手紙」を7・8月に実施しました。その中の一部の意見をお知らせします。

秘書広報課 ☎ 66-1145



災害時の情報を漏れなく受け取れるようにしてほしいです。

各地区にある防災行政無線屋外スピーカーは、これまでのアナログ式から、より高性能なスピーカーを搭載したデジタル式への建て替えを順次進めています。しかし、建物や風の影響により、場所によっては放送が聞こえづらいという課題があり、これを補うため、防災行政無線を受信できる防災行政ラジオを危機管理課で販売しています。

また、メールでの配信や市ホームページへの掲載など、情報伝達手段の多様化にも取り組んでいます。「安心ひろめる」では、防災行政無線と同じ内容をパソコンやスマートフォン、携帯電話で受信できます。QRコードまたはメールアドレスに空メールを送信していただければ登録できますので、ぜひご利用ください。



gamagori@entry.mail-dpt.jp



外国人にマナーの指導をしてほしいです。

本市では、外国人住民が10年で約1.5倍になるなど、年々増加傾向にあります。日本のマナーやルールを外国人住民に知ってもらうため、転入の際には多言語表記の生活ガイドブックを渡しています。また、今年度は、ごみの出し方や交通ルール、トイレの使い方など、基本的な生活マナーを多言語で紹介する動画を作成予定です。

今後お互いを認め合う多文化共生社会の実現に向けて、外国人住民のサポートに努めてまいります。

今回も多くの「市長への手紙」をいただき、ありがとうございました。いただいたお手紙から、皆さんの市政に対する思いを知ることができました。

私の市政運営の原点であります「蒲郡市民憲章」は昭和47年に制定され、今年で50周年を迎えております。日々の生活で重要な「ひびく」の誓いにまとめられ、教育現場や会議などの唱和を通じて、市民の皆さんに長きにわたり親しまれてきました。

今後も引き続き、皆さんからの声にしっかりと耳を傾け、蒲郡市の将来の発展に向け、「みんなの力でまちづくり」を目指してまいります。



蒲郡市長 鈴木 寿明